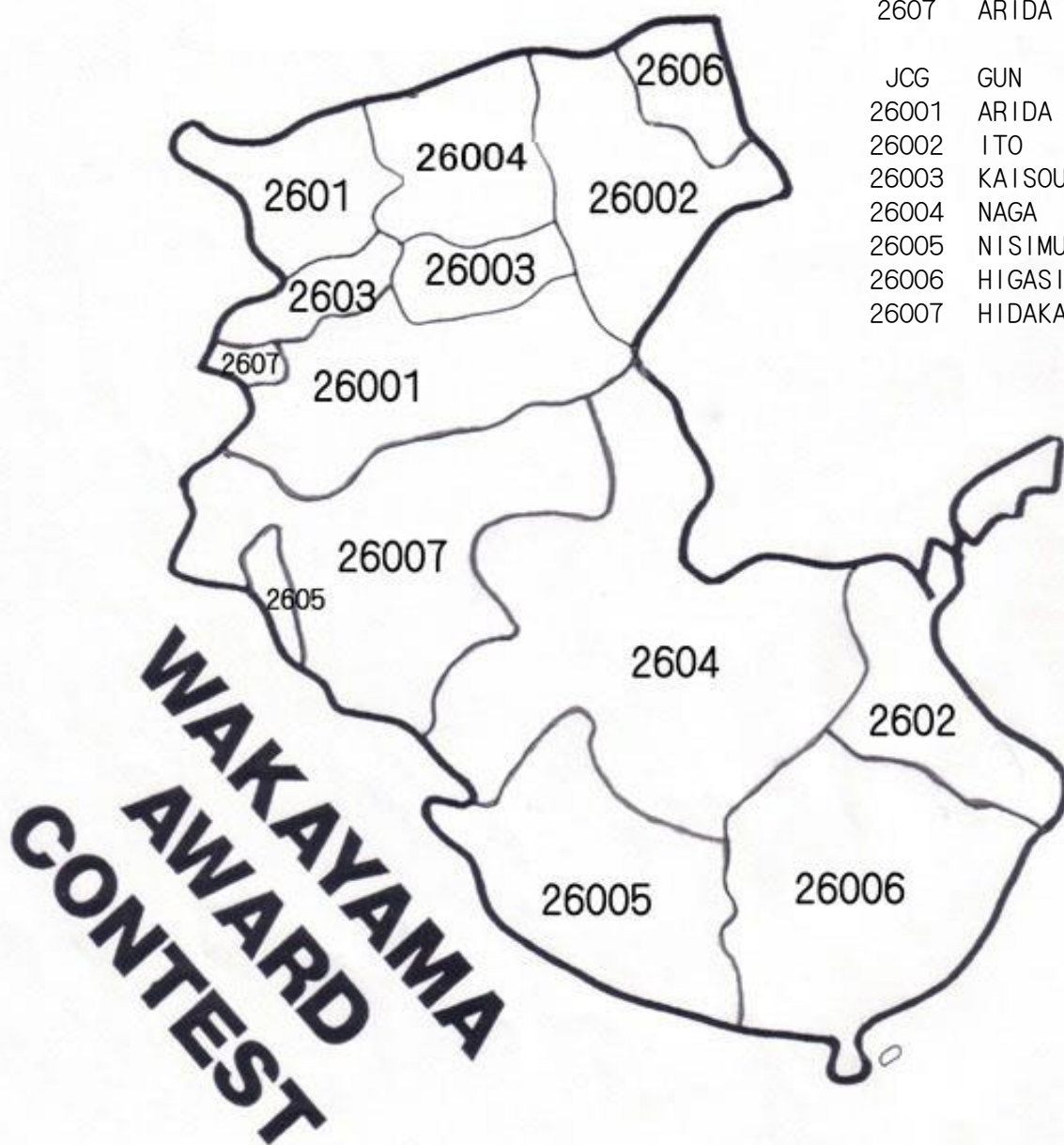


和歌山県支部報

2005. 2

JCC	CITY
2601	WAKAYAMA
2602	SHINGU
2603	KAINAN
2604	TANABE
2605	GOBOU
2606	HASIMOTO
2607	ARIDA

JCG	GUN
26001	ARIDA
26002	ITO
26003	KAISOU
26004	NAGA
26005	NISIMURO
26006	HIGASIMURO
26007	HIDAKA



支部大会・ハムの集いのご案内

JARL 和歌山県支部

日 時 平成17年2月13日 (日)

10:00ハムの集い 13:00支部大会

場 所 河北コミュニティセンター 2F

和歌山市市小路192-3

平成16年度JARL和歌山県支部大会

- (1) 開会の辞
- (2) 支部長挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 平成15年度行事報告・同決算報告
- (5) 平成16年度中間報告
- (6) 平成17年度行事計画・同予算説明
- (7) 評議員現状報告
- (8) 監査指導委員長現状報告
- (9) 第16回和歌山コンテスト入賞者紹介
- (10) 和歌山アワード発行状況報告
- (11) 非常通信訓練結果報告
- (12) 意見交換 その他
- (13) 閉会の辞

ご 挨拶

日本アマチュア無線連盟

和歌山県支部

支部長 JH3EZV 勝本 健

新年を迎えて会員の皆様方には益々ご隆昌のこととお喜び申し上げます。
また、日頃から和歌山県支部や関西地方本部の開催行事・諸活動に対して深いご理解と暖かいご支援・ご協力を賜わり心からお礼申し上げます。

昨年は大阪・池田市で『JARL 大阪いけだ総会』と『関西アマチュア無線フェスティバル』を同時に開催したことで、皆様方には事前準備から本番当日、そして後片付けまでスタッフとして一生懸命活動して下さったことを心よりお礼申し上げます。

お蔭さまで関西における久し振りの JARL 総会は、インターネット中継という新しい手法の試みにも先鞭を付け、また議事運営・進行や弱者対策の面に対しても細心の注意を払い、参加された会員の皆さんに満足して頂ける総会を提供出来たと自負しています。

さて、昨年の和歌山県は『高野・熊野参詣道』の世界遺産へ登録と言う明るい話題もありましたが、全国的には『災』の漢字が選ばれた如く、台風・水害・地震・津波などが多発して地球の怒っている様子をまざまざと見せ付けられました。

災害と言えば我々アマチュア無線家は非常通信と結び付けたくなりますが、携帯電話の普及した現在において社会的な認知度はかなり低いようです。

先日はスマトラ島沖地震・津波発生時に、心あるアマチュア無線家は非常通信のための周波数確保を呼び掛けたにも拘わらず、現存するアマチュア無線家の中でさえ賛否両論があって「ハムのモラルも地に落ちたものだ！」と嘆かれています。

時恰も『阪神・淡路大震災』の10年目、一方では『南海地震・東南海地震』の発生が心配されている折から、我々アマチュア無線家は公共の電波を使用出来る立場(電波の発射)の趣味であることを十分自覚してこれからも楽しみたいものです。

一方、JARL も会員減少に歯止めが掛からず、改革委員会を設置したにも拘わらず遅々として改革は進まない現状であり、このことは誠に残念でなりません。

せめて関西地方本部だけでも強力なリーダーシップの下に、組織・行事・活動・手法などの改革を行ない、新しい技術などに挑戦して行く姿勢を持ち続けたいものです。

今年は『関西アマチュア無線フェスティバル』も10回の節目に当たります。
実行委員会も関西人としての英知を結集して、失敗を恐れずに前向きに取り組んでいますので、皆様方のお力添えをよろしくお願いいたします。
最後になりましたが、皆様方の益々のご活躍をお祈りします。

J A R L 和歌山県支部大会・ハムの集いに寄せて

J A R L 関西地方本部長 J A 3 H X J 長谷川 良彦

「災」という文字で一年を終えた2004年でしたが、そのとどめともいえるスマトラ沖地震による津波被害は地球の巡り合わせとはいえ災害日本に住む私たちに大きな衝撃を与えました。

迎えた2005年新春早々は阪神淡路大震災10周年を迎え、あの日のことが鮮明に脳裏に浮かびます。マスコミは膨大ともいえるこれらの情報を鳴りもの入りで伝えていましたが残念なことに非常通信や復興支援にあれだけ活躍したアマチュア無線の報道は皆無でした。

実はこれらは完全に事前から無視されたわけではなく、取材の打診がなかったわけではありませんが最終的に報道価値がないと判断された現実には重大な意味を含んでいると思えます。

震災発生後45日間にわたり非常通信や生活支援通信などで述べ1万人を越える仲間が人的支援を果たしたアマチュア無線の記録は語るに価値の無いことだったのか・・・これほどアマチュア無線が社会的認知をなくしたのか、という残念な思いとともにそう思わせたことへの反省など複雑な思いが残ります。

ご承知のようにアマチュア無線制度なども恒久的なものではないということが、単なる予想ではなく現実味を帯び、免許に関する書式や申請様式も様変わりを見せています。すでにアマチュア無線という私たちが持つ概念そのものが現実の社会と不適合を起こしているのかもしれませんが。

毎年同じ事を繰り返しながら進歩できないジレンマの中で変わらないことを誇りにしているようなJ A R Lの一員として私自身自己嫌悪感を抱くこともあります。難問を山積させ何ら手をつけることが出来ない現状には役員の一員として責任を感じています。

その中で今年のJ A R L総会は10年ぶりに関西で開催され大成功を収めました。そして今年にはK A N H A Mも10周年を迎えます。

今年も多くの行事が目白押しですが、皆様のお力添えを頂き元気な関西のアマチュア無線活動を重ねながら一歩前に進む努力を続けて行きたいと思っております。

アマチュア無線を通じて知り合った仲間が手をつないだその原動力の結晶がここにあるという思いを持ち続け和歌山県支部の皆様とともにアマチュア無線の真の姿を見極めたいと願っています。

昨年同様ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶

(社) 日本アマチュア無線連盟

監事 後藤 太栄

— J H 3 G A H —

* アマチュア無線と災害

昨年は本当に災害の多い年でした。殊に10月には新潟県中越地震、そして年末には未曾有の大災害となったスマトラ沖地震とそれに起因するインド洋大津波・・・二十数万人という想像もできない数の人々が犠牲になりました。

戦争、テロ、災害・・・そして人心の荒廃・・・残念ながら私たちは不安定でより所のない世相の中を生きていることは間違いありません。

新潟県中越地震の際、現場に居合わせたアマチュア無線家は結論としてアマチュア無線が災害時には期待されていないとレポートで結んでいます。

しかし、全ての非常時にアマチュア無線が必要とされないと私は考えていません。私たちが考え感じているオーソドックスなアマチュア無線という概念を少し変えれば、非常時に再び求められる存在になれると思います。

たとえば災害復旧のボランティアとしてテレビアンテナの修理やネットワーク関連の修復を担当したり、義捐金の呼びかけを広域的に行ったりというような活動を地道に続けることにより、災害発生直後にも信頼できる存在として再び認められるようになると思います。

いずれにしても電波という社会資本（資源）を自由に使えるという恩恵に対する社会への還元（お返し）として能動的に動かない限り、アマチュア無線家の社会的立場はますます希薄なものになってしまいます。

今回の大災害に対して関西地方本部は全国に先駆けて被災地域への義捐金の募集を始めました。和歌山県支部もいち早く協力を表明されたことは皆様もご存じのことと存じます。

ひとり一人が災害とどう関わればいいのかとすることを常に考えることから”備え”は始まるのだと思います。

東南海・南海地震の発生が現実味を帯びた今日、『明日は我が身』だと肝に銘じております。

監査指導現状報告

和歌山県支部監査指導委員長
JA3DFO 小林嘉弘

平成16年度は災害の多い年でした。台風23号が各地に多大の被害をもたらし、続いて新潟中越地震そして、スマトラ島沖地震が発生して地震国日本を文字通り震撼させられました。今回は、監査指導報告とともに災害とアマチュア無線について考えて見たいと思います。

非常通信 阪神、淡路大震災時にアマチュア無線は非常通信が大きな成果を果たしました。その交信には不眠不休のアマチュア無線局のボランティア活動がありましたが、心無い局の妨害電波にも遭遇し人命に関する重要な通信も支障を受けたと聞きました。

南海 東南海地震を予測して県下の自治体等に於いて非常通信訓練が行われ県支部も参加しています。又県支部内に於ける非常通信訓練を行ないその通信経路確認等の訓練を行なっていますがもう一度

貴局のよく運用されるバンドの非常通信周波数を再確認して下さい。スマトラ島沖地震/インド洋大津波の被害地では各アマチュアバンドに於いて非常通信が限られた機材と電力事情で行われています。非常通信周波数を無視した運用と妨害電波の発射の報告を聞きます。運用に際しての十分なワッチと配慮が非常通信の重要な一つです。和歌山県がいつ！受身になるかも知れません。非常通信に関しての十分な理解が必要です。

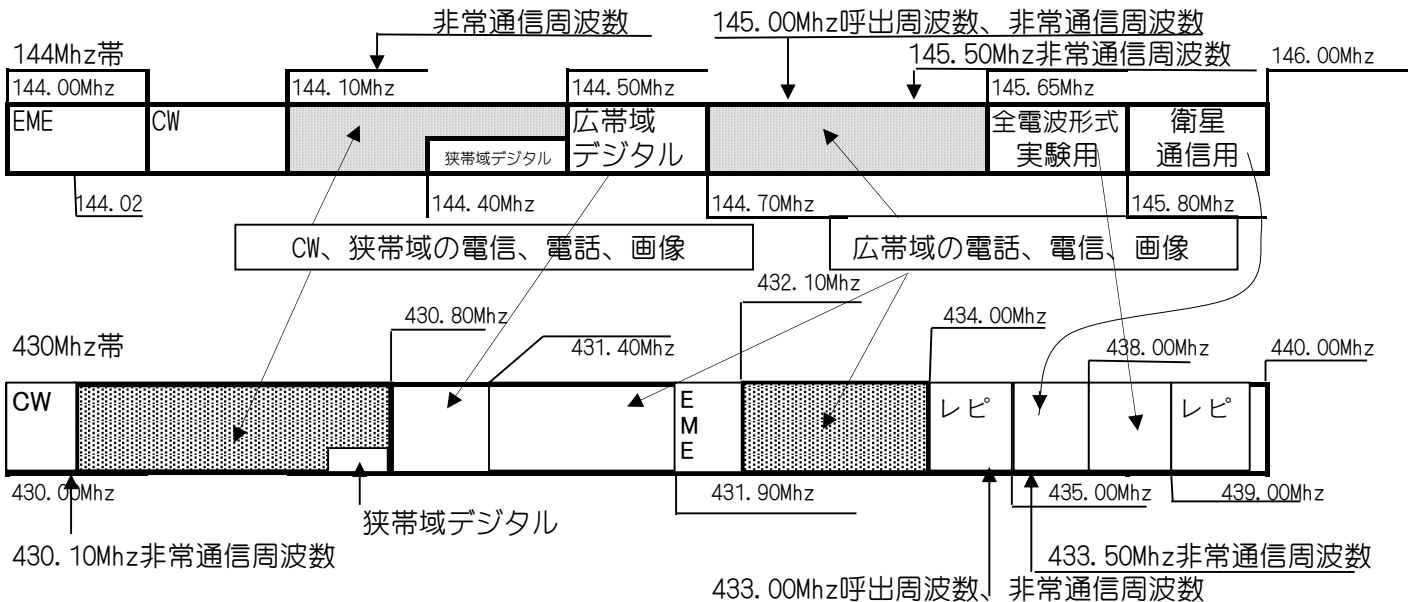
監査指導報告

平成16年度最終の報告は本年3月に致しますので、以下は平成15年度の集計の一部です。

	HF	144MHz	430MHz	合計
アマチュアバンドの使用区分を守らない局	3	49	14	66
周波数の逸脱		27	4	31
通信事項等		28	33	61
呼び出し符号の不送出		117	63	180

以上は県支部の監査指導委員から寄せられた報告書の一部をまとめたもので、詳細な報告内容と共に支部長経由して地方本部からJARL本部に送られ最終は総務省通信局運用課に提出されます。相変わらずアマチュアバンドの使用区分を守らずコールサインさえ云えない局が沢山オンエアしています。

交信にはバンドプランを守りコールサインを送出することは電波法で定められたルールです。144MHz帯と430MHz帯のバンドプランを並べてみました。どこに非常通信周波数があるかご覧下さい。



参考 JARL Webにはアマチュアバンド使用区別が掲載されています。県支部の監査指導及びガイダンス運用に対してより一層のご理解とご協力をお願いします。

平成15年度支部費決算報告

平成15年4月1日～平成16年3月31日

科 目	金 額	備 考
前期繰越高	¥73,266	
《収入の部》		
支部費	¥357,000	
賞典収入	¥9,960	
雑収入	¥0	
受取利息	¥0	
計	¥366,960	
《支出の部》		
支部大会費	¥0	
会議費	¥29,630	運営委員会・クラブ代表者会議など
催物費	¥205,776	ホール/会議室使用料・ハムの集い・関ハムなど
渉外費	¥0	
通信費	¥7,630	葉書・切手・ゆうパックなど
交通費	¥0	
消耗品費	¥0	
支部報発行費	¥29,315	コピー機トナー代金
事務印刷費	¥0	
コンテスト費	¥50,076	賞品・送料など
賞典費	¥0	
非常通信費	¥5,100	非常通信委員会議旅費
監査指導費	¥0	
雑費	¥1,340	ビデオテープ受取送料、電波使用料(JH3YCD)など
計	¥328,867	
次期繰越高	¥111,359	

平成16年度支部費中間報告

平成16年4月1日～平成16年12月31日

科 目	金 額	備 考
前期繰越高	¥111,359	
《収入の部》		
支部費	¥329,000	
賞典収入	¥0	
雑収入	¥0	
受取利息	¥0	
計	¥329,000	
《支出の部》		
支部大会費	¥0	
会議費	¥44,150	運営委員会・クラブ代表者会議など
催物費	¥60,670	会議室使用料・関ハムなど
渉外費	¥0	
通信費	¥10,200	葉書・切手など
交通費	¥1,400	高速道路料金
消耗品費	¥0	
支部報発行費	¥0	
事務印刷費	¥400	コピー代
コンテスト費	¥41,555	賞品・送料など
賞典費	¥0	
非常通信費	¥1,330	ヘルメット
監査指導費	¥0	
雑費	¥2,525	手数料など
計	¥16,230	
現在高	¥278,129	

平成15年度支部事業報告

平成16年3月31日

日付	事業項目
平成15年4月6日	第15回和歌山コンテスト
5月31日	関西地方本部監査指導委員長会議（神戸市）
6月1日	運営委員会・クラブ代表者会議
6月	8N3KAN, 8N3HAMの和歌山県内移動運用（6/4～13）
6月14日	防災力UPシンポジウム（御坊市民文化会館）
6月14・15日	関西地方本部大会・関西ハムの祭典（池田市民文化会館他）
6月28日	小・中学生アマチュア無線入門講座（和歌山市発明館）
8月31日	CW & DXミーティング（和歌山県民文化会館）
9月7日	第7回非常通信訓練（144MHz, 430MHz FM）
9月28日	和歌山県防災総合訓練（下津潮見台）
8・9月	ガイダンス局の運用（8/11～9/29）
11月22・23日	養成課程講習会の開催（紀州路田辺ハムクラブ）
11月30日	運営委員会・クラブ代表者会議
12月7日	関西年末ハムの集い（池田市・青年の家）
平成16年2月16日	支部大会・ハムの集い（和歌山市河北コミセン）
3月2日	運営委員会
3月20日	和歌山県防災ボランティアリーダー研修会

平成16年度支部事業中間報告

平成16年12月31日

日付	事業項目
平成16年4月4日	第16回和歌山コンテスト
5月	8N3IKDの和歌山県内移動運用（5/14～20）
5月21・22日	関西地方本部大会・関西ハムの祭典（池田市民文化会館他）
5月23日	JARL大阪・池田総会（池田市民文化会館他）
5月29日	和歌山県地域安全学会公開シンポジウムなど（紀南文化会館他）
5月30日	運営委員会・クラブ代表者会議
6月	8N3KANの和歌山県内移動運用（6/24～30）
8月29日	CW & DXミーティング（和歌山市河北コミセン）
9月5日	第8回非常通信訓練（144MHz, 430MHz FM）
9月26日	和歌山県防災総合訓練（有田市・ふるさとの川総合公園）
10月31日	超初心者のハムログ講座（和歌山市河北コミセン）
11月20日	防災・危機管理 e-カレッジ（田辺市・情報交流センター）
11月28日	運営委員会・クラブ代表者会議
12月5日	関西年末ハムの集い（池田市民文化会館他）
12月20日	防災気象講演会（和歌山県民文化会館）
平成17年2月13日（予定）	支部大会・ハムの集い（和歌山市河北コミセン）
3月6日（予定）	運営委員会

平成17年度支部行事計画(案)

2004年12月15日

実施予定日	行 事 項 目	記 事
平成17年4月3日	第17回和歌山コンテスト	
4・5月頃	関西アマチュア無線フェスティバル記念局の県内移動運用	
5月21・22日	関西アマチュア無線フェスティバル	関西地方本部主催(池田市民文化会館他)
5月29日	第47回JARL通常総会	連盟本部(宮城県・仙台市)
6月頃	アマチュア無線活性化記念局の県内移動運用	
7月10日	支部運営委員会・登録クラブ代表者会議	
8月28日	CW & DX ミーティング	
9月4日	第9回和歌山県非常通信訓練	
9月頃	和歌山県防災総合訓練	和歌山県主催(日時・場所未定)
10月頃	フィールドミーティング	関西地方本部主催
10月30日	超初心者のハムログ講座	
11月6日	支部運営委員会・登録クラブ代表者会議	
12月4日	関西年末ハムの集い	関西地方本部主催
平成18年2月13日	和歌山県支部ハムの集い	
3月12日	支部運営委員会	

平成17年度支部予算(案)

平成17年1月18日

《収入の部》	17年度予算(案)	16年度予算	前年比増・減
支部費	¥240,000	¥321,000	¥-81,000
賞典収入	¥5,000	¥5,000	¥0
雑収入	¥0	¥0	¥0
受取利息	¥0	¥0	¥0
収入合計	¥245,000	¥326,000	¥-81,000

《支出の部》	17度予算(案)	16度予算	前年比増・減
支部大会費	¥0	¥0	¥0
会議費	¥50,000	¥70,000	¥-20,000
催物費	¥102,000	¥150,000	¥-48,000
渉外費	¥0	¥0	¥0
通信費	¥10,000	¥20,000	¥-10,000
交通費	¥0	¥0	¥0
消耗品費	¥0	¥2,000	¥-2,000
支部報発行費	¥30,000	¥28,000	¥2,000
事務印刷費	¥1,000	¥3,000	¥-2,000
コンテスト費	¥45,000	¥45,000	¥0
賞典費	¥0	¥0	¥0
非常通信費	¥4,000	¥4,000	¥0
監査指導費	¥2,000	¥3,000	¥-1,000
雑費	¥1,000	¥1,000	¥0
支出合計	¥245,000	¥326,000	¥-81,000

【注】H. 16年度支部費については予算立案の段階で¥321,000としたが、実際に交付された額は¥329,000だった。

第16回和歌山コンテスト結果

県内 個人・電信

1. 9MHZ		
① JA5NSN/3		740
2 JF3WNO/3		540
3 JG3DOR/3		81
4 JH3EZV		25

7MHZ		
① JQ3NSU/3		6,930
2 JH5UPH/3		5,633

144MHZ		
① JM3QML		1
2 JH3EZV		1

430MHZ		
① JG3DOR/3		2

Multi HF		
① JG3CQJ		8,643
2 JM3QML		980

県内 個人・電信電話

3.5MHZ		
① JA3BYR		270

7MHZ		
① JA3BPX		8,970
2 JQ3MKL/3		5,704
3 JA3CFH		4,674
4 JF3NIM		168

14MHZ		
① JH3QED		16
2 JP3KLJ		4
3 JA3WRV		1

21MHZ		
① JG3SKK		72
2 JN3DMJ		1

50MHZ		
① JA3DFO		104
2 JF3WNO/3		1

144MHZ		
① JE3CSO/3		1,449
2 JI3WBB/3		765
3 JP3KLJ		4

430MHZ		
① JH3SKC/3		390
2 JF3OZF/3		360
3 JS3FRA		24

1200MHZ		
① JI4EAW/3		35

Multi HF		
① JK3HLP/3		54,810

Multi VU		
① JN3DMJ		280
2 7N4BGU/3		77

県内 社団		
① JR3YSG/3		3,913

県外 個人・電信

1. 9MHZ		
① JH4CHV		20
② JH2FXK		20
3 JF2WME		9
4 JI5OVQ		6
5 JK3HFN/3		4
6 JH0SGG		4
7 JR7RJZ		4
8 JN1UEP/4		1

3.5MHZ		
① JA4GWE		24
② JF6OVA		15
3 JA3RSJ		9
4 JN3ANO		4
5 JA1KXE		1
6 JE2XBS		1

7MHZ		
① JH3LXM		50
② 7L3WEV		48
③ JF1CQH		42
4 JQ2CZJ		36
5 JA1XEM		30
6 JA1COP		30
7 JA1HIY		25
8 JA9AJU		16
9 JA6FOF/6		16
10 JH6KDY		16
11 JP3TSP		16
12 JF1KWG		16
13 JJ1LWI		16
14 JA1XPU		16
15 JA1AAT		9
16 JF2AIJ		9
17 7L3EBJ		9
18 JA4AVO		9
19 JR5GWR		9
20 JR8SGE/1		9
21 JJ8FHY		9
22 JA6ICP		4
23 JE1KDM		4
24 JE5XIC		4
25 JI2GVL		4
26 JR3FOS		4
27 JA3AVO		4
28 JR4CXE		1
29 JA6LAD		1
30 JA3CVN		1
31 JH0HYX		1
32 7N4VPS/1		1
33 JH6NEC/1		1

14MHZ		
① JH7PSL		4
2 JA8AT		1
3 JETENK/7		1

144MHZ		
① JG5WLV		8

430MHZ		
① JJ5ADI		1

Multi HF		
① JA7DLE		396
② JA3AA		270
③ JA1COH		130
4 JJ1NNH		81
5 JR3NDM		49
6 JA1HG		49
7 JI7RRS		42
8 JH4JUK		36
9 JA3HC		36
10 JE1UKM		36
11 JH1NXU		25
12 JA7KM		25
13 JE1KNT		25
14 JE2HVC		9

県外 個人・電信電話

3.5MHZ		
① JA2SXS		24
2 JA3RK		9
3 JH1LAH		4

7MHZ		
① JL7AIA		81
② JG1TVK		81
③ JR1RMM		81
4 JH2HUQ		81
5 JI2QIX		81
6 JG4IBI		49
7 JA0EPV		36
8 JL2LFK		36
9 JI1IIF		36
10 JA2PEI		36
11 JA7BEW		25
12 JH30XM		25
13 JA7LRR		25
14 JA4AJB		16
15 JA7ODY		16
16 JR5PPN		16
17 JA0GZ		15
18 JA0ITY		9
19 JJ0FSM		9
20 JA0LTH		9
21 JA1SWB		4
22 JA6FXL		1
23 JG1GCO		1
24 JJ4BNJ		1

14MHZ		
① JH8WDQ		12
2 JA8EJZ		4

21MHZ		
① JR4WDX		1
2 JA8CZR		1
3 JR5EHB		1

28MHZ		
① JJ3TTH		1

144MHZ		
① JI5BVR/5		84
② JH5DAH		9
3 JF3XTY		4
4 JA3QVV		4
5 JI3MCM		1
6 JH3USU		1

430MHZ		
① JI5GND		84
2 JE4POJ		12
3 JM3KAN		6
4 JG5WUN/5		4
5 JL3IVX		2

Multi HF		
① JM1LRQ		546
② JA1FBH		272
3 JA1HLR		238
4 JF2FIU		64
5 JH2WHS		49
6 JK2VOC		25
7 JH7KSU		16

Multi VU		
① JH30XM		54
2 JA3AA		25

県外 社団		
① JH3ZIW/3		20

S W L		
① JA4-37294/4		240
2 JA3-6644		81
3 JA1-22825		25
4 JA29315		1

県内登録クラブの部		
① 潮岬ハムクラブ		3913
2 和歌山2mSSB愛好会		120
3 有田クラブ		26

失格 JI3ZOX
禁止事項違反

丸付き数字は入賞者

同得点は交信時間の
早い者を上位としています

和歌山コンテスト規約

主 催 : JARL 和歌山県支部
 日 時 : 原則として、毎年4月第1日曜日 9:00~21:00JST
 参加資格 : 日本国内のアマチュア無線局および SWL
 部 門 : N = 和歌山県内の部、 G = 和歌山県外の部、 SWL = SWL の部

種目・コード・使用バンド : 下記一覧表の通り。

★個人局の部	和歌山県内		和歌山県外	
	電信	電信電話	電信	電信電話
1.9MHz シングルバンド	NC1.9	-----	GC1.9	-----
3.5MHz シングルバンド	NC3.5	NX3.5	GC3.5	GX3.5
7MHz シングルバンド	NC7	NX7	GC7	GX7
14MHz シングルバンド	NC14	NX14	GC14	GX14
21MHz シングルバンド	NC21	NX21	GC21	GX21
28MHz シングルバンド	NC28	NX28	GC28	GX28
HF(1.9~28MHz)マルチバンド	NCHF	NXHF	GCHF	GXHF
50MHz シングルバンド	NC50	NX50	GC50	GX50
144MHz シングルバンド	NC144	NX144	GC144	GX144
430MHz シングルバンド	NC430	NX430	GC430	GX430
1200MHz シングルバンド	NC1200	NX1200	GC1200	GX1200
V・UHF(50~1200MHz)マルチバンド	NCVU	NXVU	GCVU	GXVU
★社団局の部				
マルチバンド電信・電話	-----	NXMA	-----	GXMA
★SWL の部				
マルチバンド電信・電話	SWL (和歌山県内・外共通)			

周波数区分 : JARL 主催コンテスト使用周波数帯を適用する。

1.9MHz 1200MHz はアマチュアバンド使用区分を準用する。

呼出方法 : 県内局(電信) CQ WK TEST IN DE J*3***/3

(電話) CQ 和歌山コンテストこちらは県内局 J*3***/3

県外局(電信) CQ WK TEST DE J*7***/7

(電話) CQ 和歌山コンテストこちらは J*7***/7

交信相手局 : 県内局 = 国内全域 県外局 = 和歌山県内局のみ

コンテストナンバー : 県内局 = RS(T)+市・郡ナンバー

県外局 = RS(T)+都道府県支庁ナンバー

得点 : 1交信を1点とする。SWL は和歌山県内のみを1点とする。

但し、同一バンド内での重複はモードが異なっても得点としない。

マルチプライヤー : 県内局 = 各バンド毎に都道府県支庁(和歌山県を除く)および和歌山県内の市郡を1マルチとする。

県外局 = 各バンド毎に和歌山県内の市郡を1マルチとする。

総得点 : 得点合計×マルチ合計
提出書類 : JARL コンテストログおよびサマリーシート、またはそれと同一と見なし得る様式とする。
書類提出期限 : 開催当該年の4月30日(消印有効)
書類提出先 : 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱 1 号
JARL 和歌山県支部コンテスト係
または E-Mail の場合は下記の 2ヶ所へ同時送信のこと。
jh3ezv@ares.eonet.ne.jp & jf3-nim@nike.eonet.ne.jp

問合せ先 : 上記に同じ。

賞状 : 各部門、種目別にエントリー数が 5 局以内は 1 位のみ。
6～10 局は 2 位まで。 11 局以上は 3 位まで賞状を発行する。

禁止事項等その他 :

* JARL コンテスト規約に準じる。

* エントリーは個人局 2 種目以内、社団局 1 種目とする。

但し、2 種目とは HF 帯(1.9～28MHz)と VUHF 帯(50～1200MHz) で各 1 種目。

同一人が個人局や社団局など 2 以上のコールサインを使用してのエントリーは認めない。

和歌山県内局はマルチバンドで運用し、シングルバンドにエントリー出来る。

和歌山県内 JARL 登録クラブ構成メンバーは、提出書類に登録番号と登録クラブ名を記入すること。

* コンテスト結果が必要な方は SASE を同封すること。

なお、封筒の大きさは長形 3 号(120×235mm)とし、¥80 切手を貼ること。

* 移動局に対しては、当該地に移動した事実を証明する公正な第三者の書類などの提出を求める場合があるので、予め心得ておくこと。

* 副賞『和歌山県特産品』はエントリー数・得点などにより下記の通りとする。

県内の部・県外の部共に入賞 10 個程度＋特別賞 1 個程度 (合計 22 個程度)

県内の部・県外の部共に入賞 10 個＋特別賞 1 個 (合計 22 個)

* 電子ログで提出する場合のお願い!

電子ログは JARL Web に掲載の電子ログ作成ツール(最新版)に従うこと。

ウイルス対策上から原則として添付資料は受け付けない。

件名欄は『WK-TEST』、送信者欄は『氏名』または『コールサイン』を正しく名乗る。

(悪戯と紛らわしい送信者名は使用しないこと)

【補足説明】

当該地に移動した事実を証明する公正な第三者の書類とは??

具体的には宿泊先のパンフレット、宿泊料の領収書、道路通行料の領収書、駅のスタンプ、当該地近傍(ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、一般商店など)で商品購入した際の領収書、現地で撮影した日付入りの写真などを考えています。

和歌山アワード規程

下記のように和歌山県内の市・郡・町・村から各1枚の QSL カードを取得する。

1. Excellent 賞 : 49市町村
2. A賞 : 7市
3. B賞 : 7郡
4. C賞 : 36町
5. D賞 : 6村

2004-10-1 付で『南部町』『南部川村』が消滅し、『みなべ町』が誕生しました。

【注】申請する条件の最終交信が 2004-10-1 以降の場合は、それ以前に獲得した QSL カードであっても『南部町』と『南部川村』は無効となります。

特 記 : シングルバンド・シングルモードのみ特記する。

申請方法 : JARL 制定のアワード申請書およびカードリストを使用し、手数料を添えて申請すること。

SWL および外国局にも発行する。

(申請者の自己申告のみで良く、証明者は必要としない)

また、和歌山コンテストにおいて当該市郡町村と QSO したがその QSL カードを取得出来ない場合、事実関係をコンテスト委員会が確認出来るものについては当該 QSO を認めるので、申請先へ問い合わせること。

但し、最近の5年以内に限る。(5年経過後は JARL 文書管理規定で廃棄のため)

手数料 : 郵便小為替にて1賞のみは 500 円。

複数賞を同時に申請する場合は2賞目以降の1賞につき 300 円づゝ加算する。

外国局は1賞につき 500 円とする。

その他 : 市町村名の変更や増減が行われた場合は、それらの施行日を以て本規定も改定されたものとする。

申請先 : 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号

JARL 和歌山県支部アワード係

問合せ先 : 申請先と同じ(SASEに限る)

電子メールの場合は、jr3eqg@jarl.com または jh3ezv@jarl.com

発行者 : JARL 和歌山県支部

『和歌山アワード規定』に述べている、現存する和歌山県内の市・郡・町・村とは下記の通りです。

【市】 和歌山市 新宮市 海南市 田辺市 御坊市 橋本市 有田市

【町】 有田郡 : 広川町 湯浅町 金屋町 吉備町 清水町

伊都郡 : 九度山町 高野口町 かつらぎ町 高野町

海草郡 : 下津町 野上町 美里町

那賀郡 : 岩出町 貴志川町 打田町 粉河町 那賀町 桃山町

西牟婁郡 : 上富田町 串本町 白浜町 すさみ町 中辺路町 日置川町

東牟婁郡 : 古座町 熊野川町 古座川町 太地町 那智勝浦町 本宮町

日高郡 : **みなべ町** 由良町 印南町 川辺町 日高町 美浜町

【村】 伊都郡 : 花園村

西牟婁郡 : 大塔村

東牟婁郡 : 北山村

日高郡 : 中津村 美山村 龍神村

今後も引き続き平成の合併が予定されていますが、これに伴う和歌山アワードの申請条件を下記の通り明確にしておきます。

JARL 発行の WACA および WAGA 方式を採用します。

即ち、各賞毎に最終交信時点において現存する市・郡・町・村を有効とし、消滅した市・郡・町・村は無効とする。

また、申請に際して JARL が制定している市・郡番号(JCC および JCG ナンバー)を使用することは差し支えないが、HAM ログなどが制定している町・村番号・記号は JARL として認めていないので、町・村名をその仮記入して下さい。

アワード発行状況

(平成16年1月1日～12月31日)

	No.	CALL	氏名	特記
Excellent賞	57	JJ3LLT	古家 徹	7MHz-SSB
	58	JM4OSI	今坂 建夫	7MHz-SSB
A賞	181	JK3ISC	西川 榮一	144MHz-SSB
	182	JG1VCI	平山 三郎	7MHz-SSB
	183	JE2RZS	進藤 昭和	
B賞	131	JK3ISC	西川 榮一	144MHz-SSB
	132	7M4NRX	杉本 昇	7MHz-SSB
	133	JE5PHO	守屋 一夫	7MHz-SSB
	134	JG1VCI	平山 三郎	7MHz-SSB
	135	JJ0KBC	西山 光雄	7MHz-SSB
	136	JH4WHE	永峰 彰	7MHz-SSB
	137	JE2RZS	進藤 昭和	
C賞	申請なし			
D賞	8	JA3QVV	森本 茂次	7MHz-SSB

JARL和歌山県支部登録クラブ一覧表 (平成16年度)

平成17年1月1日現在

登録番号	クラブ名称	代表者	CALL
26-1- 1	はまゆうアマチュア無線クラブ	古久保恭一	JA3CHT
26-1- 2	有田アマチュア無線クラブ	岩崎好宏	JA3CF
26-1-12	ハム高野山クラブ	中尾 勲	JR3TPS
26-1-17	潮岬ハムクラブ	南部 清	JE3AIU
26-1-18	紀州路田辺ハムクラブ	鈴木博雄	JA3RPY
26-2- 2	桐蔭高校アマチュア無線クラブ	三栖康秀	JA3AZL
26-4- 1	和歌山葵クラブ	廣井五十二	JA3EQC
26-4- 3	オールデイ紀の國	加藤明利	JA3BY
26-4- 4	紀南ハムクラブ	立花 昇	JR3XKN
26-4- 6	和歌山クラブ	笹井美秋	JA3BL
26-4-22	和歌山2mSSB愛好会	田中将夫	JF3NIM
26-4-24	和歌山身障ハムクラブ	鍛冶幸雄	JH3MRB
26-4-25	アマチュア無線南海クラブ	浅井章寛	JA3BFS

JARL和歌山県支部運営委員名簿（平成16年度）

平成17年1月1日現在

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号
支部長 (総括)	JH3EZV	勝本 健	640-8482	和歌山市六十谷1353-14	073-461-3232
副支部長 (和歌山・教育・技術指導)	JA3EQC	廣井五十二	641-0036	和歌山市西浜1009-8	073-445-2889
運営委員 (海南・広報・会報・コンテト)	JF3NIM	田中将夫	642-0001	海南市船尾237	073-482-3202
運営委員 (和歌山・企画・渉外)	JR3RXM	臼井貞行	640-8306	和歌山市出島121	073-471-2390
運営委員 (和歌山・非常通信)	JR3KUF	池上和彦	641-0062	和歌山市雑賀崎6-48	073-444-3080
運営委員 (和歌山・コンテスト)	JA3WRV	梅本教正	641-0045	和歌山市堀止西2-2-14	073-426-0118
運営委員・監査指導委員長 (和歌山)	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市三葛285-157	073-447-1009
運営委員 (伊都)	JL3ORT	前 清	648-0211	伊都郡高野町高野山796	0736-56-2693
運営委員・監査指導委員 (海南)	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市大野中212	073-482-5429
運営委員 (海草・コンテスト)	JF3IVR	前谷昌男	640-1103	海草郡野上町吉野164	073-489-2079
運営委員 (有田・アワード)	JR3EQG	辻村光司	649-0301	有田市下中島48-3	0737-88-5332
運営委員 (有田・コンテスト)	J13VYC	江川裕之	649-0446	有田郡吉備町田口1300-1	0737-52-2325
運営委員 (御坊・日高)	JA3CHT	古久保恭一	644-0002	御坊市園377-3	0738-22-6955
運営委員 (田辺・非常通信)	JH3SYB	田上茂樹	646-0031	田辺市湊1432	0739-25-1882
運営委員・監査指導委員 (西牟婁・非常通信)	JG3QEV	川崎紀久男	649-3632	西牟婁郡串本町須江1039-1	0735-65-0568
運営委員 (新宮・東牟婁)	JA3BPX	岡崎 悌	647-0071	新宮市佐野1730-13	0735-31-6221
相談役	JA3BL	笹井美秋	641-0012	和歌山市紀三井寺678	073-444-3896

JARL和歌山県監査指導委員名簿（平成16年度）

平成16年4月1日現在

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号
監査指導委員長	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市三葛285-157	073-447-1009
監査指導委員	JE3GON	池上 賢	646-0003	田辺市中万呂471-1	0739-25-5650
監査指導委員	JG3QEV	川崎紀男	649-3632	西牟婁郡串本町須江1039-1	0735-65-0568
監査指導委員	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市大野中212	073-482-5429
監査指導委員	JK3UWI	中川慎二	649-6531	那賀郡粉河町粉河2463-6	0736-73-6238
監査指導委員	JA3DFN	高田秀志	640-8413	和歌山市島橋東ノ丁13-7	073-451-9555
監査指導委員	JA3BY	加藤明利	640-8303	和歌山市鳴神68-4	073-475-4421
監査指導委員	JH3GAH	後藤太栄	648-0211	伊都郡高野町高野山154	0736-56-4724